



Global Network
on Extremism & Technology

オンラインの過激主義を特定し、
取り組むためのサイバーセキュリティに
おけるフェミニスト理論の利用

Elsa Bengtsson Meuller

2023年5月

エグゼクティブサマリー

GNETはロンドン大学キングスカレッジの *International Centre for the Study of Radicalisation* (ICSR: 過激化研究国際センター) が取り組む特別プロジェクトです。

本レポートの著者は
Elsa Bengtsson Meuller です。

Global Network on Extremism and Technology (GNET: 過激主義とテクノロジーに関するグローバルネットワーク) はテロリストのテクノロジー利用の理解と対抗措置のために業界が資金提供する独立したイニシアティブ、Global Internet Forum to Counter Terrorism (GIFCT: テロリズムに対抗するためのグローバルインターネットフォーラム) の支援を受けた学術研究のイニシアティブです。GNET はロンドン大学キングスカレッジの戦争研究学部の学術研究センター、International Centre for the Study of Radicalisation (ICSR) により召集され、統制されます。本文書に含まれる見解と結論は著者の見解と結論であり、明示、暗示を問わず、GIFCT、GNET または ICSR の見解と結論を代表するものではありません。

お問い合わせ

ご質問、お問い合わせおよび本レポートの追加コピーに関しては以下にお問い合わせください。

ICSR
King's College London
Strand
London WC2R 2LS
United Kingdom

T. **+44 20 7848 2098**
E. **mail@gnet-research.org**

Twitter: **@GNET_research**

本エグゼクティブサマリーは複数の言語（アラビア語、英語、フランス語、ドイツ語、インドネシア語および日本語）で提供されています。GNET のその他の出版物同様に、これらおよびレポート全文（英語のみ）は GNET のウェブサイト www.gnet-research.org から無料でダウンロードできます。

© GNET

引用文献：

Bengtsson Meuller, Elsa. "A Feminist Theorisation of Cybersecurity to Identify and Tackle Online Extremism." ロンドン：Global Network on Extremism and Technology (GNET：過激主義とテクノロジーに関するグローバルネットワーク) 2023 年 5 月。 <https://doi.org/10.18742/pub01-132>.

エグゼクティブサマリー

オンラインの嫌がらせと過激主義は社会的に不利な立場にある人々、特に有色人種、女性およびトランスジェンダーやノンバイナリーが標的にされることが過度に多い。本レポートでは主に暴力的過激主義の防止と対抗（Preventing and Counter Violent Extremism 略称 P/CVE）対策およびサイバーセキュリティ対策はオンラインの過激主義と嫌がらせの被害者の体験とニーズの重視を怠っていることに焦点を定めている。テック企業と国家は重視を怠ることによって過激主義の排除にも失敗している。

オンラインの嫌がらせはジェンダーや人種で区別されるよう考案されており、男性優位主義を通じて優勢が主張されている。オンラインの嫌がらせを利用するのはしばしば極右勢力、ジハード主義者、ミソジニストなどの過激派集団である。しかしオンラインの嫌がらせはサイバーセキュリティ対策において「価値観の脅威」とはみなされていない。また、テロリズム研究の専門分野では、人種差別とミソジニーのインターセクショナルリティと適切に関わってこなかった。その結果、我々は過激主義や嫌がらせに対応する際に社会的に不利な立場にある被害者の重視を怠っている。

本レポートは過激主義と取り組むためにサイバーセキュリティにおけるフェミニスト理論の利用によりオンラインの過激主義への対応に以下3つの主な修正を施すことを提案する。

1. ミソジニストと人種差別主義者によるオンラインの嫌がらせを過激主義の概念に組み入れる
2. 焦点を攻撃と暴力に対応することから、オンラインの構造的暴力と取り組むことに変える。
3. オンラインの嫌がらせと過激主義の被害者に権限を与え、中心に置く。

この急進的なアプローチは、ステークホルダーが被害者をサポートしつつ、より強く、支援的で経験に基づいた反対勢力の構築にリソースを投じることを可能にする。トラウマを体験した人々がサポートを提供されれば、個人とコミュニティは有害なコンテンツを探知し、他の人々をサポートし、団結した姿勢を示すことができる。支援的で権限を与えられたコミュニティは人権保護の維持に役立つ。社会的に不利な立場にある人の暴力の経験をサイバーセキュリティと P/CVE 政策の中心に置くことで、我々はオンラインの暴力の被害者のためのサポートのメカニズムとイニシアティブを創造するためのリソースを大幅に向け直し、最終的には過激主義とそれを促進する力の構造に挑戦するサポートのコミュニティを育むことができる。サイバーセキュリティにおけるフェミニスト理論の利用は過激主義の根源と取り組むのに役立つ。

主な調査結果

- 組織は現在オンラインの嫌がらせと暴力の被害者をサポートしていない。オンラインの嫌がらせと過激主義などのオンラインの暴力と取り組む際には、被害者中心のアプローチがサイバーセキュリティと P/CVE の両政策が真の変化を遂げるために必要である。
- 政策立案者は暴力の被害者がトラウマに対処するのを援助することよりも、犯人の身元を明らかにすることにリソースを投入しすぎていないかに焦点を定め直し、評価する必要がある。
- オンラインの嫌がらせと過激主義の被害者を中心に置いた、フェミニスト理論を利用したサイバーセキュリティは過激主義者の暴力と取り組み、過激主義の原因となる力の構造に対抗するのに役立つ。
- ミソジニストと人種差別主義者によるオンラインの嫌がらせは過激かつ暴力的である。
- 現在の P/CVE とサイバーセキュリティ分野（国家政策を含む）はジェンダーおよび人種差別的な構造と関わっていないため、過激主義に対抗するための戦略と活動は事実上男性優位主義に基づいて構築されており、その結果として効果的な介入手段に欠けている。



お問い合わせ

ご質問、お問い合わせおよび本レポートの追加コピーに関しては以下にお問い合わせください。

ICSR
King's College London
Strand
London WC2R 2LS
United Kingdom

T. **+44 20 7848 2098**
E. **mail@gnet-research.org**

Twitter: **[@GNET_research](https://twitter.com/GNET_research)**

GNET のその他の出版物同様に、本レポートは GNET のウェブサイト www.gnet-research.org から無料でダウンロードできます。

© GNET